

# 令和6年度分 事業所における自己評価総括表（保育所等訪問支援）

事業所名	子ども発達総合支援センター		
保護者評価 実施期間	令和 6年 12月 16日		～ 令和 7年 2月 28日
保護者評価 有効回答数	対象者数	63人	回答者数 20人
職員評価 実施期間	令和 7年 2月 17日		～ 令和 7年 2月 21日
職員評価 有効回答数	対象者数	21人	回答者数 21人
訪問先施設評価 実施期間	令和 7年 2月 12日		～ 令和 7年 2月 28日
訪問先施設評価 有効回答数	対象者数	54人	回答者数 39人
事業所向け自己評価表 作成日	令和 7年 3月 7日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種で支援・連携ができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>多職種で支援方法を検討し、支援に最適な専門職員で訪問している。</li> <li>訪問先の困りごとや心配ごとに対して、多職種で相談、検討している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門職員の知見を職員間で共有し、専門的な視点を活かした訪問支援を実施する。</li> </ul>
2	保育園や幼稚園等と連携が図りやすい	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の公的施設であり、園とセンター職員双方の思いを汲み取りながら、支援内容の到達点を設定している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育に参加しながら園の1日の流れを学ぶとともに、支援を必要とするこどもの関わりを園の職員とともに考える機会とするため、公立保育園等で、専門職員（保育士・訓練士）の実習研修を実施する。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて 必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業が十分に浸透していない	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の通所支援に比べ、開始時期が遅く、同サービスを提供している事業所も少ないこともあり、事業そのものや、事業の効果などが十分に知られていない。</li> <li>訪問先（特に担当者）への丁寧な事前説明が不足している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の目的、内容、流れ等を理解いただけるよう、根気強く啓発していく。</li> <li>訪問先（特に担当者）へ事前説明を丁寧に行う。</li> </ul>
2	訪問機会が少ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>通所支援のほか、保育所等訪問支援、家族支援、地域デイサービス等、多種多様な支援に取り組んでおり、限られた人員で訪問日の調整や対応をしなければならない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正な人員配置に努め、必要とされる専門性を活かした支援を図る。</li> </ul>